

鹿ノ台自治連合会資源物個別回収委員会懇談会実施結果

日 時 平成30年7月15日（日）13:00～14:00
場 所 鹿ノ台いきいきホール2階大会議室
出席メンバー 藤堂・下山・山口（敬称略）
事務局 木戸・西井
参加者 源物個別回収委員会委員 15名
自治連合会役員 12名 合計 27名(自治会総世帯数 2,572 世帯)
配布資料 ・「燃やすごみ減量に向けて」パワーポイント資料
・「生駒市ごみ減量市民会議」チラシ No.4 No.5
・「フードドライブ開催」チラシ
・生駒市のごみ分別表

内 容

- 「燃えるごみ減量に向けて」説明(パワーポイント)
- 生ごみ処理器「キエーロ」普及啓発 → モニター希望者1名
- プラスチック製容器包装の現物を使つての説明



○懇談会

《キエーロについて》

Q. 入れるごみの量はどのくらいが良いか？

A. 掘った穴に入る程度であれば良い。

Q. 夏場 3~4 日で消えるとのことだが、その間生ごみは処理できないのか？

A. プランターでキエーロなら 3ヶ所ぐらい穴を開けられるので順番に入れることができる。

Q. 蠅とかの虫が発生しないか？

A. 入れた生ごみの上にしっかりと土を被せることで、臭いや虫の発生を抑えることができる。

Q. イタチのような動物に荒らされることはないのか？

A. 大きな猫は入れないが、イタチは入られる可能性はある。ネットで塞ぐと防ぐことができる。

Q. 生ごみを入れても土の量は増えないのか？

A. 貝とか骨とかは分解しないので残るが人が食べられる生ごみはバクテリアが分解して何も残らないので土の量は増えない。

《ゴミ分別について》

Q. クリーニングのハンガーは燃えるごみか大型ごみかどちらですか？

A. 30 cmを超えるものは大型ごみになる。30 cmを越えても切って 30 cm以下になれば燃えるごみで出してもらえばよい。

Q. 傘の出し方が難しいので説明してほしい。

A. 1m 以内の棒状のものであれば、燃えるものと燃えないものに分けて、紐で括って直径 15 cm以内であれば、生駒市の 30 cmか 45 cmの指定袋に入れて大型ごみ燃えないごみとして大型ごみ処理券を貼らずに出すことができます。地域の集積所には出すことは出来ません。

Q. 1m 以内の木の棒であれば燃えるごみの集積所に出すことができるのですか？

A. 燃えるごみの集積所には、30 cmを超えるものは出すことができません。木の棒で 30 cm以内に切ることができれば、指定袋に入れて出すことができます。

Q. 広告は、新聞紙と一緒に出していいのですか？

A. 集団資源回収で出す場合は、契約している業者のルールに合わせてもらうことになりまますので業者に確認してください。普通は、広告と新聞は一緒に出しても良いと思います。

Q. 曖昧なものがあって分別表の冊子に載っていないものもある。時間が掛かるかもしれないが、まとめていただけないか。

A. この冊子で大体のものは載っているが、私も含めて市民が 100%分別するのは困難と思っている。市が委託している収集事業者が「間違っただけのものが入っていても再度選別しているので、あまり神経質になってもらわなくても良い。」と言ってくれている。ただ、出す際に「生ごみが入っているようなあまりにも汚れているもの」はダメなので、きれいにならない場合は、燃えるごみに出してください。

明らかに商品と解る場合は、収集しない場合もあるが、曖昧で迷うような場合は、収集するようにしている。